



代表取締役社長
梶川 勇次

■ 経営環境

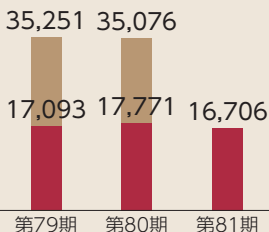
当中間連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続くなか、ワクチン接種が進み経済活動再開に伴う景気の持ち直しの動きが見られたものの、新たな変異株が出現し、先行きは依然として不透明な状況が続いておりました。

食品小売業界におきましては、EC(電子商取引)事業者による食品の取り扱いの拡大や外食産業の回復の影響による内食需要の減少に加えて、原材料の高騰による商品の値上げに伴う消費者の節約志向の高まりが懸念されるなか、業種や業態を越えた競争は一層激化しており、厳しい経営環境が続いております。

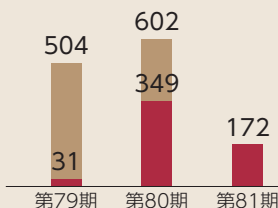
■ 連結決算ハイライト

■ 通期 ■ 中間期

営業収益(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



■ 営業概況と業績

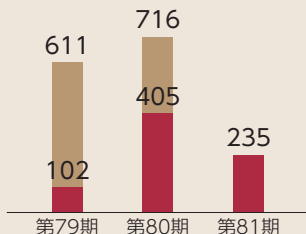
このような状況のなか、当社グループといたしましては、地域に密着したスーパーマーケットとして、地域のお客様の食のライフラインとして、安全・安心な商品の安定供給およびサービスの向上に努めてまいりました。

また、岡崎食品加工センターおよびドミーデリカ惣菜センターの機能強化により、店舗作業を軽減し、作業効率を高めて業務改善を図るとともに、事務作業のデジタル化を推進してまいりました。さらに、食品廃棄ロス削減はSDGsの課題のひとつであり、発注精度の向上による廃棄ロス削減への取り組みを通じ、社会的責任を果たしてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の営業収益は167億6百万円、営業利益は1億72百万円、経常利益は2億35百万円となりました。なお、親会社株主に帰属する中間純利益は2億87百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

経常利益(単位:百万円)



親会社株主に帰属する
中間(当期)純利益
(単位:百万円)

